

面白山～(面が白い)～

【報告者】I丸

【日時】2018年 10月 16日 【天候】晴れ時々曇り

【参加者】I丸

《コースタイム》

6:46 JR 山寺駅 → 電車 → 6:52 面白山高原駅 → 7:00 登山口 → 8:40 南面白山 → 9:40 権現様峠
→ 10:10 奥新川峠 → 11:00 長左衛門平 → 中面白山 → 12:30 北面白山 → 13:20 三沢山 →
13:45 長命水 → 14:15 天童高原キャンプ場 → 15:30 面白山高原駅 → 電車 → JR 山寺駅

《 報 告 》

山形と宮城県境にある奥羽山脈にある面白山。雪深くて、その面が白くなる事から面白山と呼ばれているそうです。今回は、JRの駅を基点に周回コースを歩いてきました。

JR 山寺駅の始発電車に乗る為、駅前駐車場(1日¥500)にレンタカーを止め駅へ向かう。私は、レトロなローカル線と思っていたが、ホームには、通勤客が多く、近代的な列車がホームに入って来た。平日のため、ちょっと混み合った車内でひと駅の間心苦しい思いをする。そして、ただ1人だけ面白山高原駅で下車。シーンとした駅にポツンと感でスタートした。

駅の南側にある面白山高原スキー場登山口へ向かう。スキー場の斜面を登って最初のピーク、南面白山へ登る。青空の下、コスモスもチラホラ咲いていて、風が冷たく気持ちよかった。山頂手前の急登がきつかったが、予定より早く南面白山に到着。ここは、紅葉が見頃だったが出来が少し悪かった。山頂から一旦急に下り、平坦なブナ林の歩きとなる。ブナの葉は薄くて太陽の光を通すので、太陽光の角度が良かったのか、登山道は黄金色に輝いていた。



大東岳を右手に見ながら、その裾野をアップダウンしながら峠を越えていく。誰にも会わずに長左衛門平に到着。ここからは、JR 面白山高原駅から面白山へ登る様々なコースがあるので、登山道も踏み固まっていたし、登山客もチラホラ現れた。そこからは、眺めの良い尾根歩きとなったが、稜線上の紅葉は、既に終わっていた。

だんだん熱くなって、ちょっと疲れて面白山(北面白山)山頂に到着。展望の景色も良



く、昨日登った船形山を見ることが出来た。直後に登って来られた登山者が、25000/1の地図を広げて山を見ている。話しかけると、地元の方らしい。よしっ！情報をゲットするぞっ！と意気込んで話し掛けたが、なんでも登山を始めて半年らしい。まずは、地図の整

置中であつた。情報ゲットならず。

山頂から三沢山へ下りて行き、長命水の冷たい水で生き返り、天童高原キャンプ場へ到着。数年前に来た時より随分新しい建物が増えていて、沢山の人で賑わっていた。その傍らを地味にすり抜け、JR駅へと下った。電車の時間まで少し時間があつたが、駅から行ける紅葉川溪谷ハイキングコースは、まだまだ紅葉は青々しく、歩く気になれず、何も無い駅で今夜の宿をネットで検索して暇をつぶした。

本日も16kmコースで疲れ意味。ネットで目を引いた「山形県職員会館あこや会館」に宿泊を決定し、電車に乗ってJR山寺駅に向かった。



← 面白山山頂のお地藏さん

とても冷たく美味しかった

長命水

